

大物イワナを捕まえよう！



滝根公民館主催の魚つかみ大会が9月21日、滝根海洋センターで開かれ、滝根地区の小学生など61人が参加しました。プールに240匹のイワナが放され、子供たちは家族からの声援を受けながら、一生懸命、魚を追いかけてきました。

野外料理とカヌーに挑戦



都路チャレンジの25人が会津自然の家で「野外クッキング&カヌー体験」に挑戦しました。ポークカレーと飯ごうでのご飯作りでは、火がつかず苦戦しながらも上手に出来上がり、全員が和気あいあい、おいしく食しました。

会津の歴史と文化を学ぶ



大越地方史研究会と大越公民館主催の「会津方面文化財めぐり」が、10月5日に行われました。参加者43人は、明治戊辰戦争で壮烈な戦死をとげた中野竹子殉節碑や神指城跡、戸ノ古古戦場跡などを研修し、教養を深めました。

年賀状に使える「ちぎり絵」



常葉公民館主催の「ちぎり絵教室」が10月5日に開かれました。講師に郡司茂子さん(小野町)を迎え、色とりどりの和紙を使って来年の干支の午を描きました。参加者は、覚えた技を「年賀状に試してみたい」と話していました。

懐メロの調べにうっとり



東日本大震災復興支援♪みんなであいさつ♪コンサートが9月21日、常葉公民館で開かれました。311有志10人が「浜辺の歌」など15曲を演奏し、来場した150人は一緒に歌うなどして楽しいひと時を過ごしました。

心身をリフレッシュ



ハイキング教室が9月7日、北塩原村の五色沼で開かれ、滝根と船引から41人が参加しました。あいにくの曇り空でしたが、参加者は秋の遊歩道を思い思いのペースで歩き、心地よい疲労感を味わいながら美景を満喫しました。

役立っています「宝くじ助成事業」



●整備した備品(盆踊りやぐら、獅子頭、子どもみこし、秋祭り参道照明、ワイヤレスマイク、アンプ、チューナー)
※コミュニティ助成事業は、(財)自治総合センターが宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源に、コミュニティ事業に助成を行い、健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を行っています。宝くじは広く社会に役立てられています。

船引町上移地区の上移伝統芸能保存会は8月に盆踊り大会を開き、住民と帰省した出身者が触れ合い、楽しく交流しました。10月には秋祭りが行われ、獅子頭を先頭に、子どもみこしが元気いっぱい地区内を練り歩きました。

味のある陶芸作品が完成



都路公民館福寿草大学の「陶芸教室」が9月10日に開かれ、20人が参加しました。受講生は、文化祭に向けて2年ぶりの陶芸体験に粘土をこねたり、延ばしたりと真剣に取り組んでいました。作品は個性豊かで、満足の仕上がりになりました。

スポ少の指導者を養成



スポーツ少年団認定員養成講習会が9月28と29日、常葉公民館・常葉体育館で開かれ、県内から50人の指導者が受講しました。各单位スポーツ少年団には資格を持った指導者が必要とされるため、参加者は真剣な眼差しで学んでいました。

思いやりの心を育てる



人権擁護委員による「人権教室」が滝根三世代交流館、船引児童館、常葉児童生活センターで開かれました。子どもたちは、紙芝居やビデオ視聴を通して友だちに対する思いやりの気持ちを学び、それぞれが感じたことを発表しました。委員からは「少しずつ人権の輪が広がっていくことを期待します」との願いが伝えられました。

中野区で田村市をPR



10月12と13日、姉妹都市の東京都中野区で開かれた「中野にぎわいフェスタ2013」に中野まつり等参加実行委員会が参加しました。催しは12カ所で行われ、実行委員会は中野サンプラザ広場での「復興支援大物産展」に出店しました。晴天に恵まれ、市の新鮮野菜や特産品、カブトムシグッズ、しそジュースなどが好評でした。